

# 病院年報

## 2022年度



社会医療法人恒貴会

協和中央病院

# 目次

## 1. 事業計画

- 1) 2022年度 協和中央病院 事業計画

## 2. 診療実績

- 1) 協和中央病院 年度別患者数
- 2) 2022年度診療科別・月別患者数（外来延患者数）
- 3) 2022年度診療科別・月別患者数（入院延患者数）
- 4) 年齢別患者数
- 5) 地域別患者割合
- 6) 放射線科 年度別検査件数
- 7) 検査科 年度別検査件数
- 8) リハビリ科 年度別リハビリ件数
- 9) 歯科口腔外科 年度別患者延数
- 10) 健康医学管理課 年度別人間ドック等実施者延数
- 11) 居宅支援事業 居宅件数・医療福祉相談件数
- 12) 手術件数（上位20項目）
- 13) 疾病中分類
- 14) 救急・時間外年度別患者数

# 【2022年度 協和中央病院事業計画】

## 1 【目的・役割】

協和中央病院は、「相手の立場に立つ」という法人理念のもと、地域の急性期医療の中心を担う医療機関として、良質かつ安心・安全な医療及び介護を持続的に提供していくという使命感で、さらなる成長をめざす。

またコロナ禍による厳しい環境下であるが、感染防止に徹底して取り組みながらも「患者様から信頼される病院」そして「職員が働きがいのある病院」をめざす。

## 2 【年度目標】

- (1) 赤字体質からの脱却を目標に、入院収入増収に向け、入院患者の増患、入院化率の高い救急車受入れ体制を強化する。  
目標値：全体収入 3%増収 入院稼働率 93% 平均在院日数 19 日以内  
外来 1 日 360 名以上 救急車受入年間 1,500 件（夜間休日救急受入件数年間 750 件） 経費 5%削減
- (2) 「患者様から信頼される病院」を実現するため、診療体制の充実、及び強化に向け、特に医師、看護師、薬剤師の確保を優先的に取り組む。
- (3) 感染防止対策に職員一丸となって取組み、新型コロナウイルス感染症の感染予防と発生の抑制を強化する。また職員自身の健康管理に努め、自己啓発と感染防止に取り組む。
- (4) 2025 年の地域医療構想に向け、地域の基幹病院として当院の方向性について進める。急性期医療から慢性期、在宅までのサービス体制を保ちつつ、地域の人口減少、高齢化の進行を見据え、住民に安心を与えられる医療提供体制の構築に努める。

## 3 【事業計画】

### I. 地域社会に貢献する

- (1) 恒貴会グループ各施設の役割、機能を十分に活用するため密接に連携し、救急医療から在宅までの医療提供体制の維持、また、さらなる医療サービス向上に努める。
- (2) 社会医療法人認定要件継続に向け、救急患者受入体制の強化を行う。  
また、同認定要件である災害医療（DMAT）についても検討する。
- (3) 地域の医療機関、介護施設、また各行政機関と密に連携し、患者・利用者の確保に努める。

## II. 業務改善と人材確保、離職防止に努める

- (1) 医療体制の継続、さらなる医療サービス向上をめざし、マンパワー不足の解消に努める。医師、看護師、薬剤師確保を最重要課題とし、紹介会社の活用、各種学校への訪問を積極的に行い、法人の魅力を最大限にアピールする。また、救急受入体制強化に向け救命救急士の採用を進める。
- (2) 入職希望者へ院内見学、職員との直接会話等を行い、新たな職場となる病院への不安解消をはかる。
- (3) 働き方改革を踏まえ、労働時間、有休休暇等の改正に即した労働環境・雇用形態・勤務体系の整備に努める。  
また、各部署の業務見直し、改善を行い、残業時間短縮を図る。
- (4) 人材育成として、専門的知識・技術取得、また専門資格取得等、職員の啓発意欲を積極的に支援し、職責へのモチベーション向上を促す。

## III. 建物・設備のメンテナンスの充実をはかる

- (1) 将来的な建て替えを視野に入れつつ、医療環境の充実を図るため改修すべき老朽設備の整備に取り組む。
- (2) 改修設備  
救急車搬入入口の増設・入院案内所設置・待合室身障者トイレの設置・病棟身障者トイレ改修・病棟浴室改修・病棟休憩室改修・病室ドアの改修・病室廊下等壁天井張替え・給排水設備の改修・駐車場舗装工事 等々  
継続的な医療提供を行うため、施設改修に向けて中長期的に更新を行う。
- (3) 医療機器等、機能、性能維持及び適正な使用を図るため計画的な保守点検を行う。
- (4) 機器更新において、当院の規模、件数及び診療報酬に見合った機器選定を行い、計画的な更新を行う。

## IV. 医療安全及び危機管理体制

- (1) 医療事故防止・医薬品安全管理・医療機器安全管理・情報セキュリティー対策・ハラスメント防止対策の危機管理を徹底するため、時代・実情に即したマニュアルの改善と、マニュアルに沿った対応を強化する。
- (2) 院内感染防止対策として、新型コロナウイルス感染症の院内発生・院内持ち込み防止の強化を図る。また職員自身の健康管理に努め、自己啓発と感染防止に取り組む。
- (3) 個人情報の漏えい防止に職員一丸となり努める。
- (4) 電子カルテ等システムのトラブル及び電源ダウン時の訓練を定期的に行う。

- (5) 患者の暴力や迷惑行為、また苦情処理や訴訟対応を多職種連携し対応・対策に取り組む。
- (6) 医療安全対策強化として、インシデント報告を基に事例分析・分析結果・改善及び再発防止に取り組む。
- (7) 医療安全に関する最新情報の把握と職員への啓発を図る。
- (8) 大規模災害に備え、自ら被災した中で初期救急医療体制の充実強化が必要である。寸断なく医療提供を行う、人命を最大限優先する、災害拠点病院として地域の医療提供の核となる、を重要課題とし、マニュアルの見直し及び危機管理体制の強化を図る。

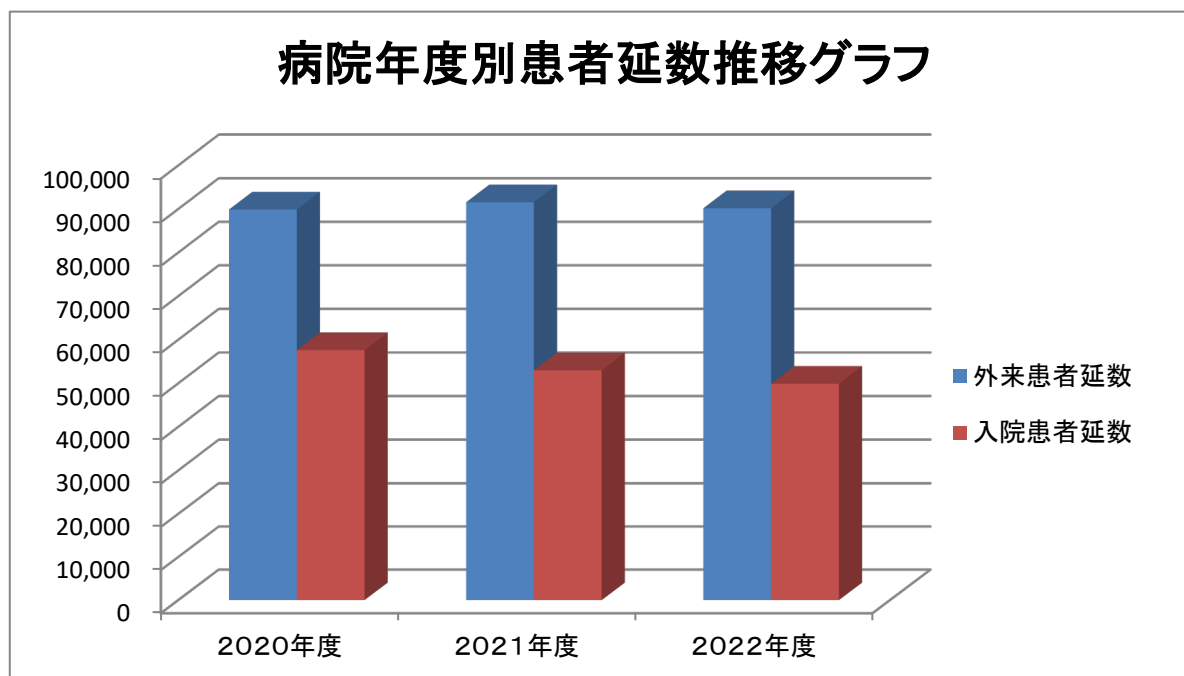
## V. 経営改善

- (1) 赤字体質からの脱却を目標に、医業収益の7割をしめる入院収入増収に向け、入院患者の増患、入院化率の高い救急車受入れ体制を強化する。
- (2) 不採算部門を洗い出し、人員の見直し、収益増への検討を行い、経営改善策に取り組む。
- (3) 病院事業を継続及び成長させるために、内部的環境、外部的環境を迅速に把握し、国が進める2025年の地域医療構想に向け、地域の基幹病院として当院の方向性について進める。  
新たなビジョン、プランの作成、機能再編や必要ならダウンサイジングの検討を行う。

# 1) 協和中央病院 年度別患者延数

(単位:人)

		2020年	2021年	2022年
外来	新患者数	8,134.00	7,834.00	8,300.00
	外来患者延数	89,883.00	91,561.00	90,171.00
	1日平均	310.00	313.00	307.36
入院	入院患者延数	57,624.00	52,992.00	49,905.00
	1日平均	158.00	145.20	136.73

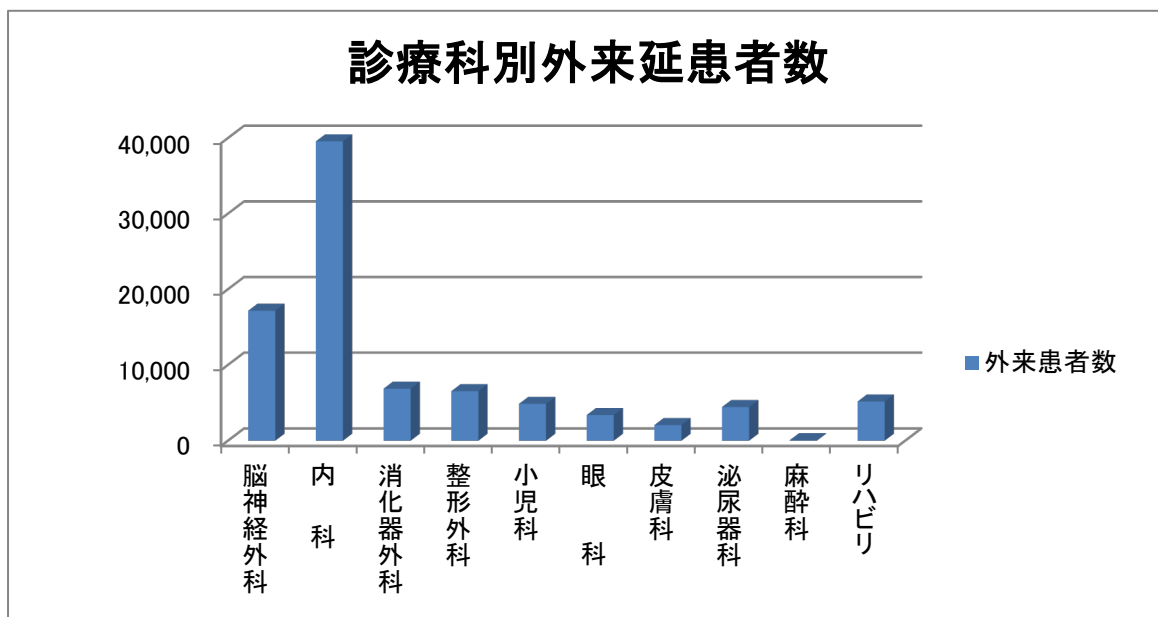


## 2) 2022年度診療科別・月別患者数(外来患者延数)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
外来	脳神経外科	1,397	1,431	1,469	1,399	1,373	1,385	8,454
	内科	2,953	2,746	2,898	3,370	6,183	3,239	21,389
	消化器外科	553	581	615	545	545	563	3,402
	整形外科	494	535	605	601	519	551	3,305
	小児科	404	375	386	464	500	435	2,564
	眼科	296	282	320	299	291	305	1,793
	皮膚科	151	188	165	219	183	190	1,096
	泌尿器科	359	317	359	350	386	376	2,147
	麻酔科	5	3	12	5	2	8	35
	リハビリ	415	405	433	402	373	401	2,429
	合計	7,027	6,863	7,262	7,654	10,355	7,453	46,614

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
外来	脳神経外科	1,434	1,382	1,518	1,412	1,378	1,585	8,709	17,163
	内科	3,355	2,856	3,616	3,289	2,412	2,646	18,174	39,563
	消化器外科	552	617	640	509	519	632	3,469	6,871
	整形外科	578	479	602	494	513	564	3,230	6,535
	小児科	394	381	485	390	306	343	2,299	4,863
	眼科	288	267	274	245	278	241	1,593	3,386
	皮膚科	147	211	153	172	146	137	966	2,062
	泌尿器科	377	381	434	356	321	428	2,297	4,444
	麻酔科	9	7	5	3	8	5	37	72
	リハビリ	430	445	461	393	447	566	2,742	5,171
	合計	7,564	7,026	8,188	7,263	6,328	7,147	43,516	90,130

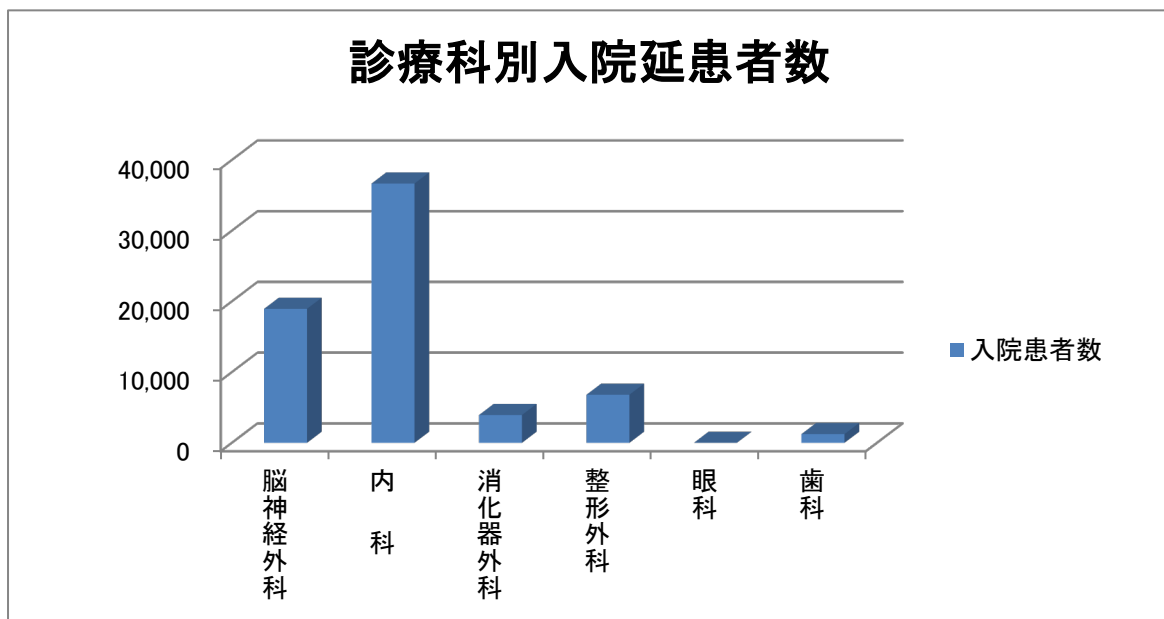


### 3) 2022年度診療科別・月別患者数(入院患者延数)

(単位:人)

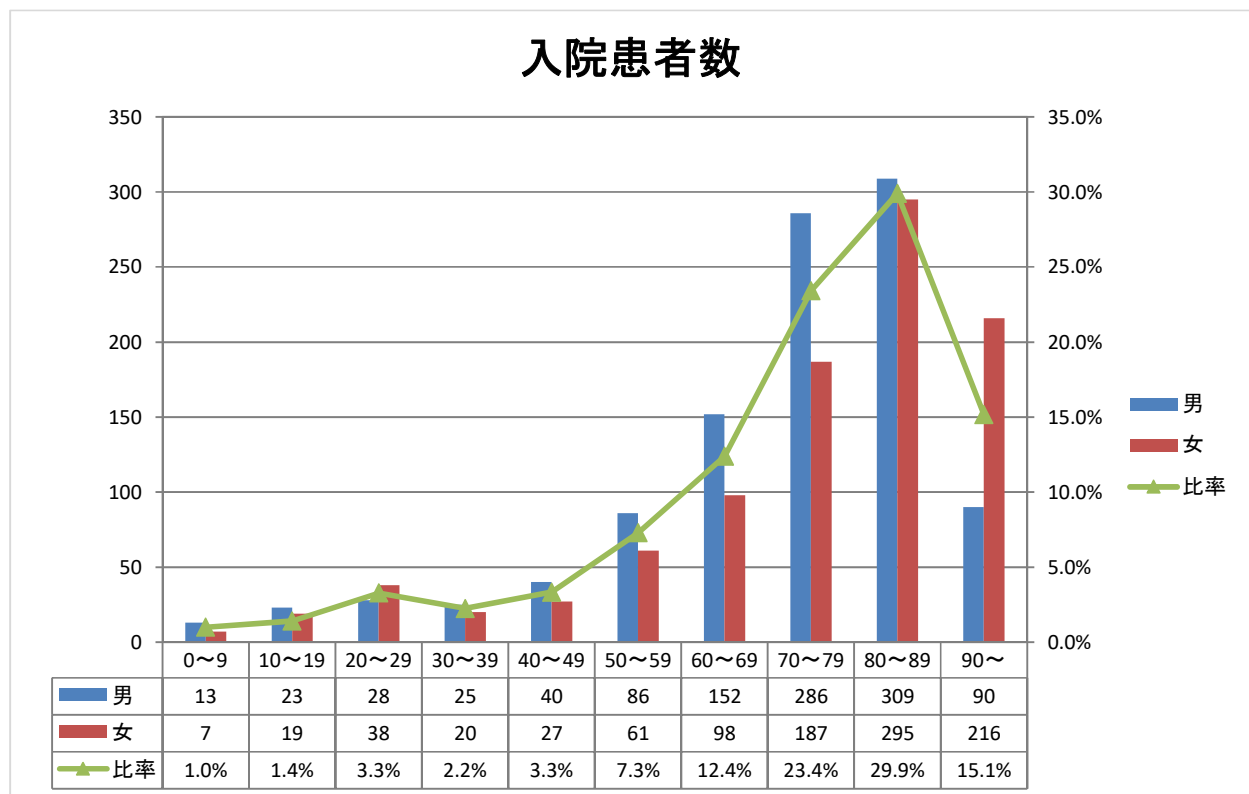
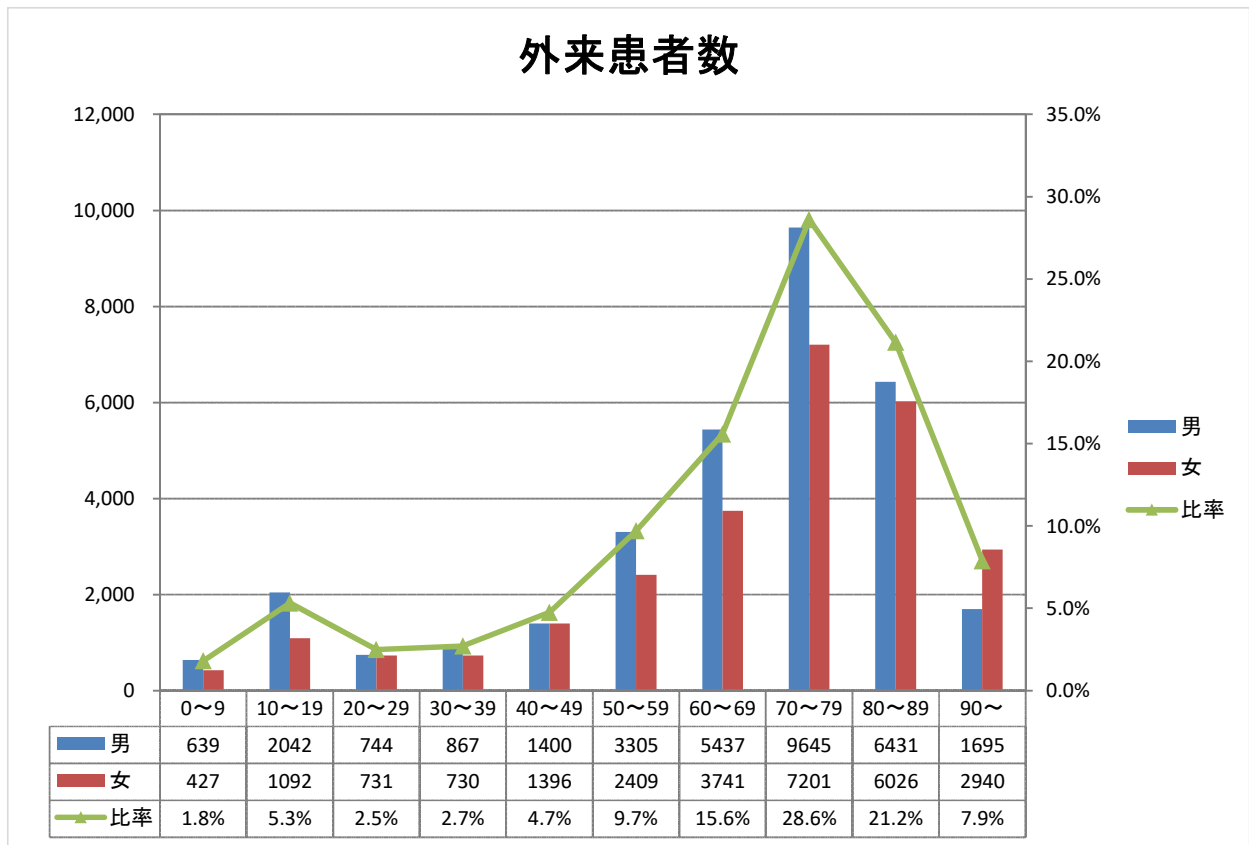
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
入院	脳神経外科	1,587	1,572	1,374	1,517	1,647	1,504	9,201
	内科	1,500	1,567	1,342	1,586	1,567	1,535	9,097
	消化器外科	373	356	343	311	274	218	1,875
	整形外科	508	628	507	524	529	447	3,143
	眼科	0	0	0	2	0	2	4
	歯科	96	128	121	90	120	96	651
	合計	4,064	4,251	3,687	4,030	4,137	3,802	23,971

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
入院	脳神経外科	1,518	1,541	1,688	1,762	1,629	1,609	9,747	18,948
	内科	1,602	1,728	1,828	18,979	1,582	1,850	27,569	36,666
	消化器外科	266	331	300	286	342	533	2,058	3,933
	整形外科	563	579	705	590	615	605	3,657	6,800
	眼科	2	0	0	0	0	0	2	6
	歯科	135	87	79	57	105	123	586	1,237
	合計	4,086	4,266	4,600	21,674	4,273	4,720	43,619	67,590

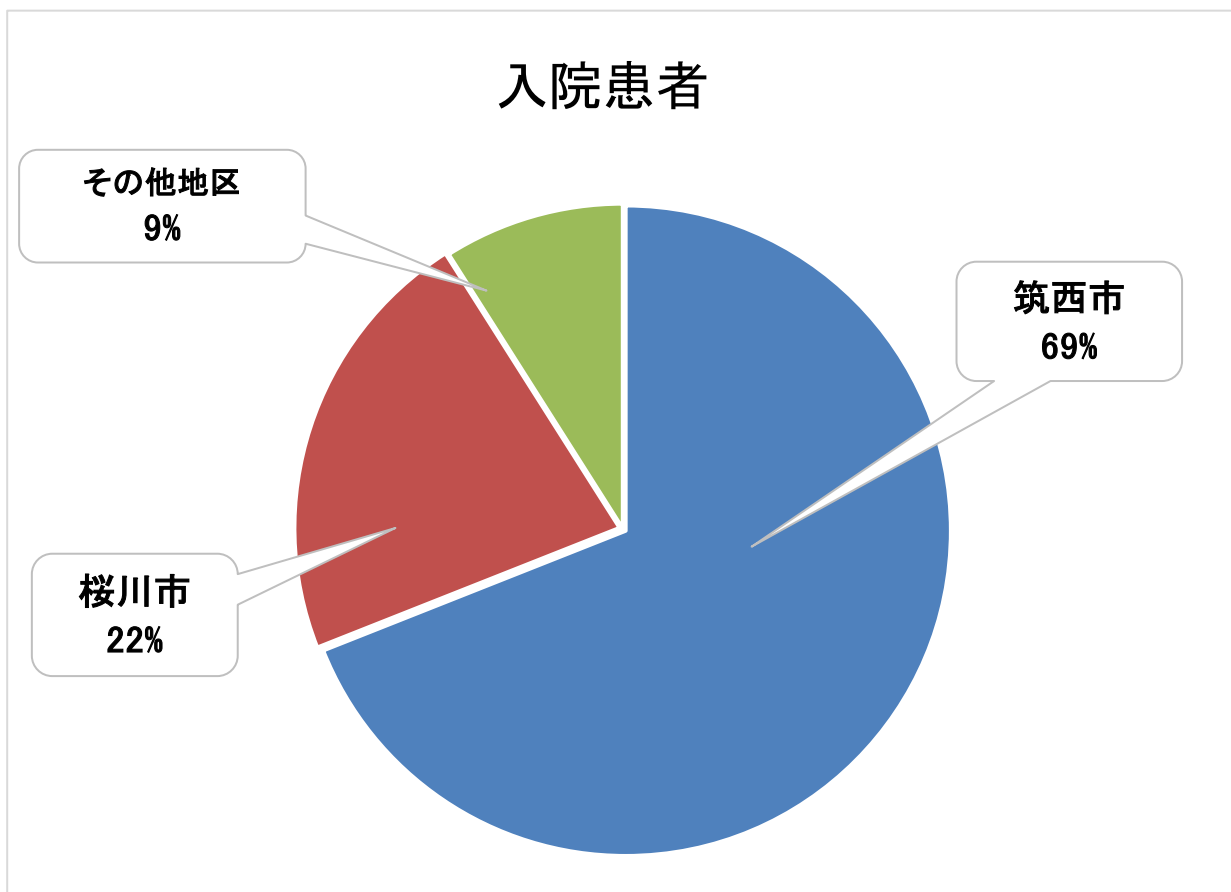
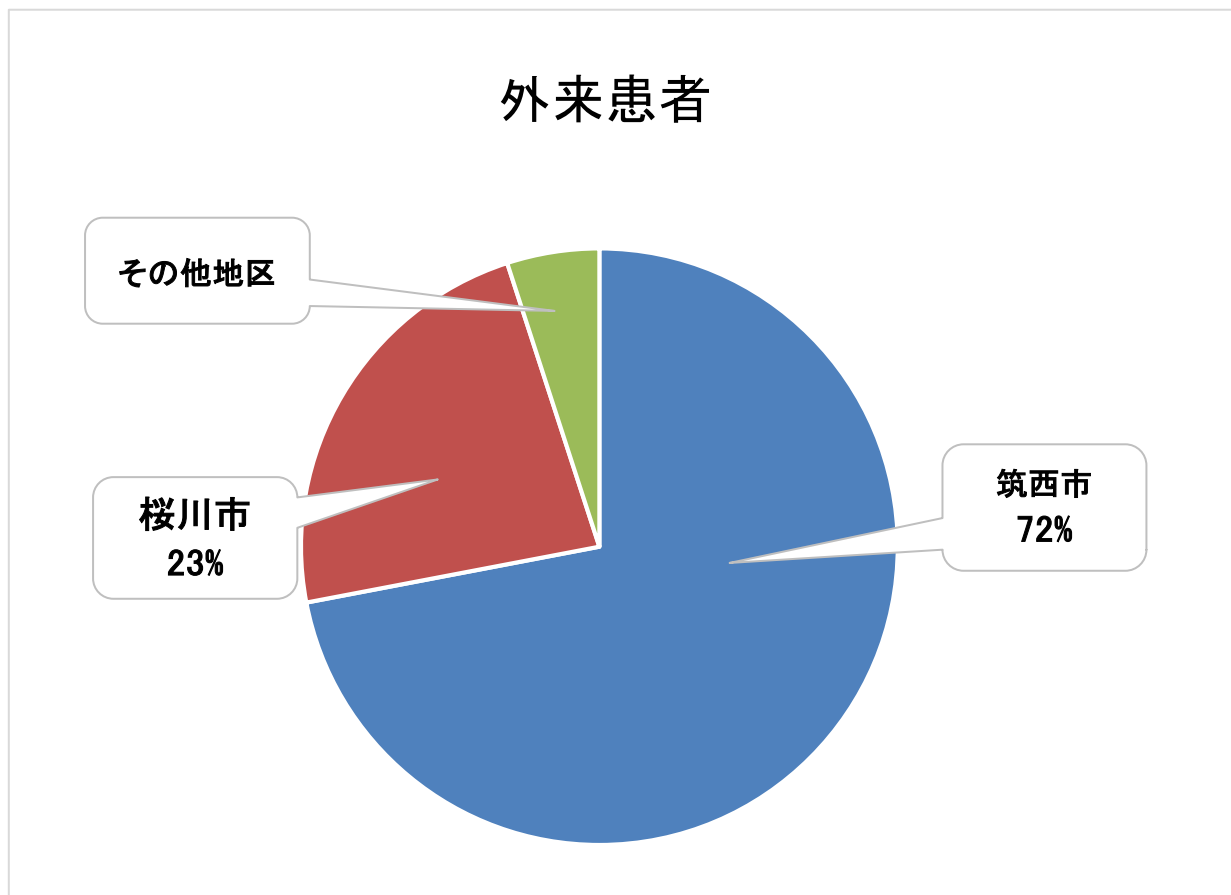




## 4) 年齢別患者数



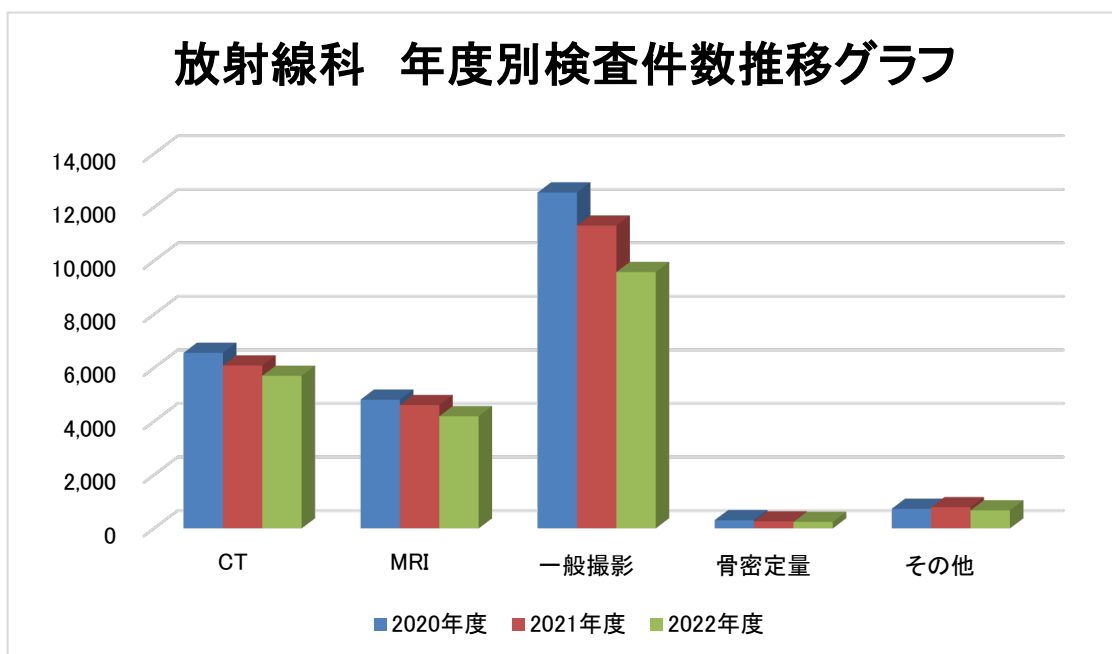
## 5) 地域別患者割合



## 6)放射線科 年度別検査件数

(単位:件)

		2020年度	2021年度	2022年度
CT	入院	1,215	994	986
	外来	5,343	5,091	4,713
	計	6,558	6,085	5,699
MRI	入院	481	421	332
	外来	4,328	4,185	3,857
	計	4,809	4,606	4,189
一般撮影	入院	4,224	3,659	2,951
	外来	8,326	7,652	6,625
	計	12,550	11,311	9,576
骨塩定量		305	259	241
その他		732	790	673
合計		24,954	23,051	20,378



## 7) 検査科 年度別検査件数

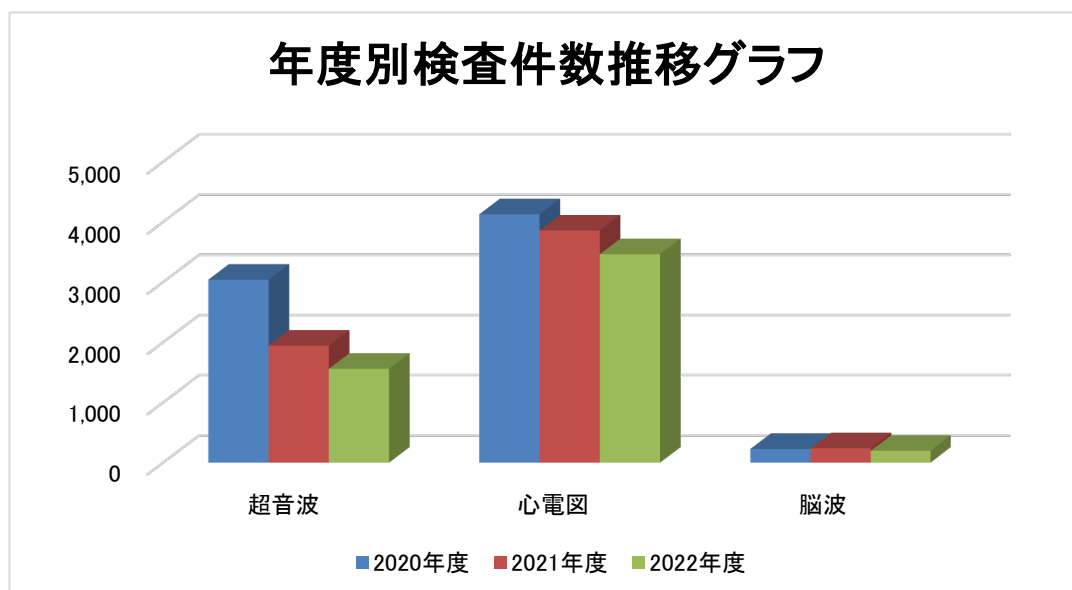
(単位:件)

		2020年度	2021年度	2022年度
超音波 (心臓)	入院	315	254	227
	外来	473	421	335
超音波 (胸腹部)	入院	222	79	39
	外来	1,681	822	680
超音波 (その他)	入院	93	123	73
	外来	255	244	204
計		3,039	1,943	1,558

心電図	入院	1,657	1,398	1,232
	外来	2,339	2,300	2,094
ホルター型 心電図	入院	33	74	68
	外来	97	83	68
計		4,126	3,855	3,462

脳波	入院	22	23	19
	外来	205	214	178
計		227	237	197

合計		7,392	6,035	5,217
----	--	-------	-------	-------

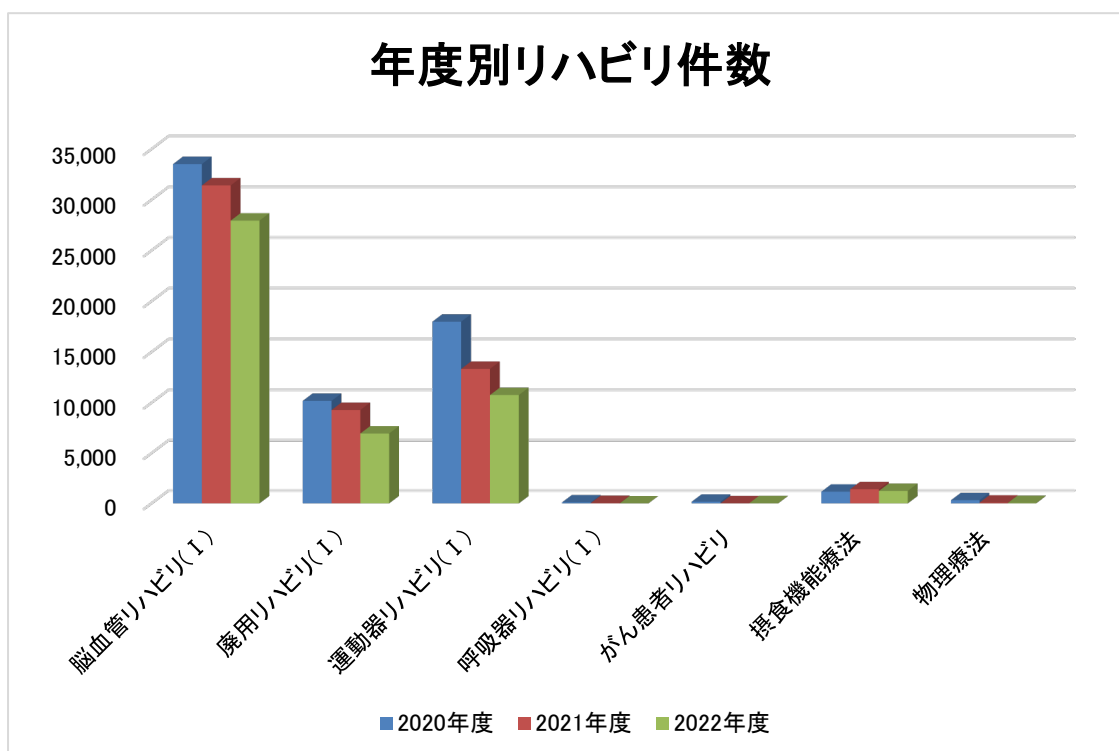


## 8)リハビリ科 年度別リハビリ件数

(単位:件)

入院	2020年度	2021年度	2022年度
脳血管リハビリ(Ⅰ)	26,747	25,368	20,947
廃用リハビリ(Ⅰ)	10,106	9,141	6,894
運動器リハビリ(Ⅰ)	9,539	4,901	6,193
呼吸器リハビリ(Ⅰ)	107	44	—
がん患者リハビリ	168	13	22
摂食機能療法	1,168	1,415	1,245

外来	2020年度	2021年度	2022年度
脳血管リハビリ(Ⅰ)	6,775	6,051	7,004
廃用リハビリ(Ⅰ)	81	146	63
運動器リハビリ(Ⅰ)	8,448	8,435	4,570
物理療法	320	76	51



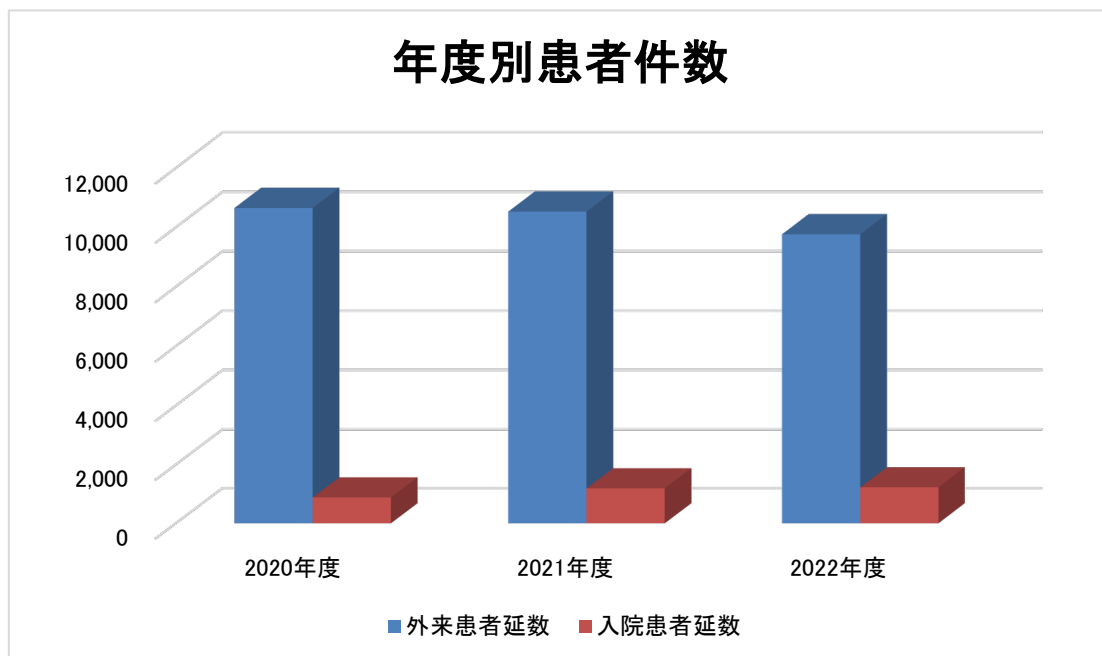
## 9) 歯科口腔外科 年度別患者件数

(単位:件)

	2020年度	2021年度	2022年度
外来患者延数	10,652	10,529	9,766
入院患者延数	882	1,192	1,226
手術件数(全身麻酔件数)	262(174)	284(213)	298(214)

### 主要手術名称

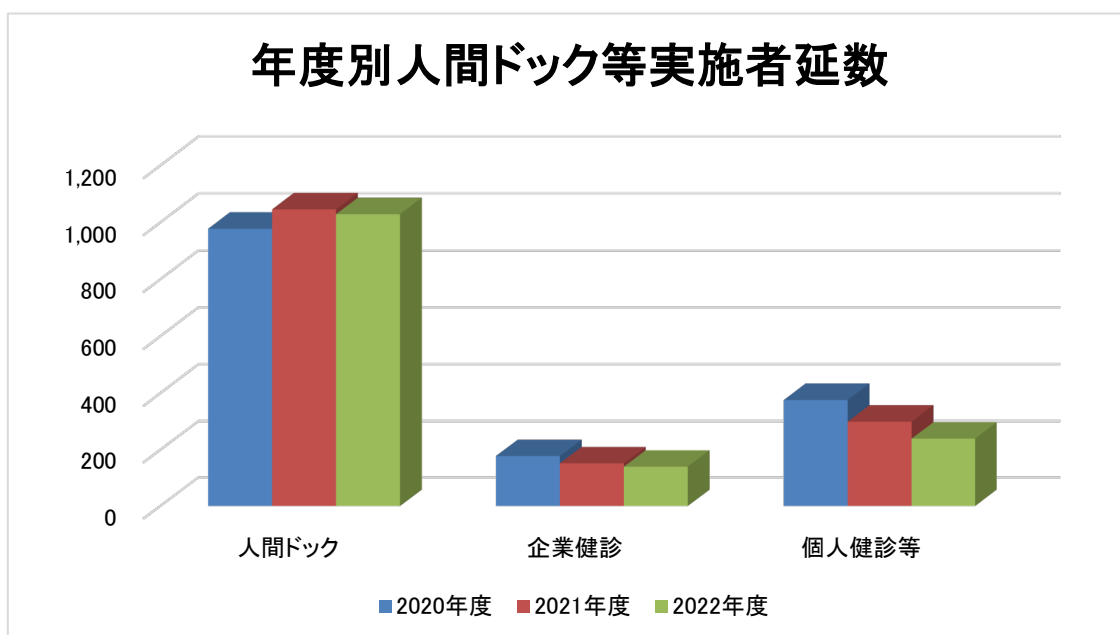
埋伏歯抜歯手術	顎骨腫瘍摘出術	インプラント手術
過剰歯抜歯手術	舌腫瘍摘出術	下顎隆起形成術
舌悪性腫瘍切除術	頬粘膜腫瘍摘出術	顎骨内異物除去術
顎関節形成術	唾石摘出術	有病者・障害者・小児歯科治療
萌出困難歯開窓術	観血的整復固定術	顎下腺摘出術
頸部郭清術		etc



# 10) 健康医学管理課 年度別人間ドック等実施者延数

(単位:人)

	2020年度	2021年度	2022年度
人間ドック	978	1,046	1,029
企業健診	178	152	140
個人健診等	376	300	240

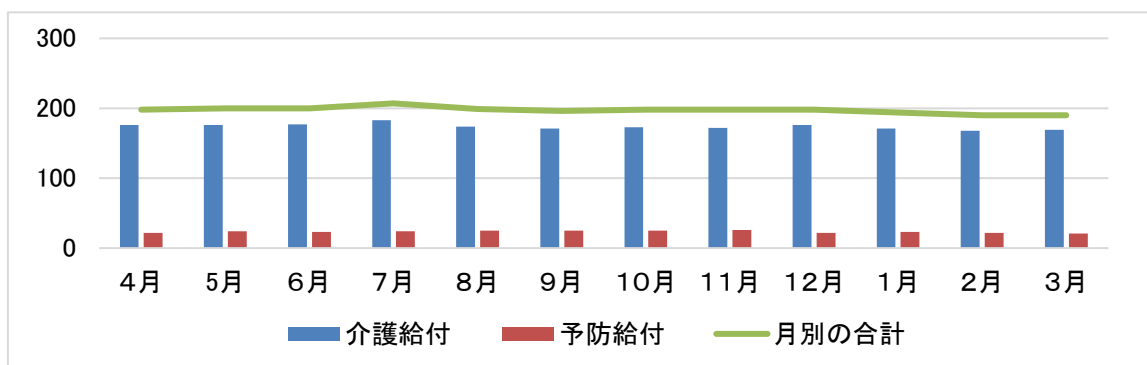


# 11) 居宅支援事業 居宅件数・医療福祉相談件数

## 令和4年度 居宅介護支援給付件数

(単位: 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
介護給付	176	176	177	183	174	171	173	172	176	171	168	169	2,086
予防給付	22	24	23	24	25	25	25	26	22	23	22	21	282
月別の合計	198	200	200	207	199	196	198	198	198	194	190	190	2,368

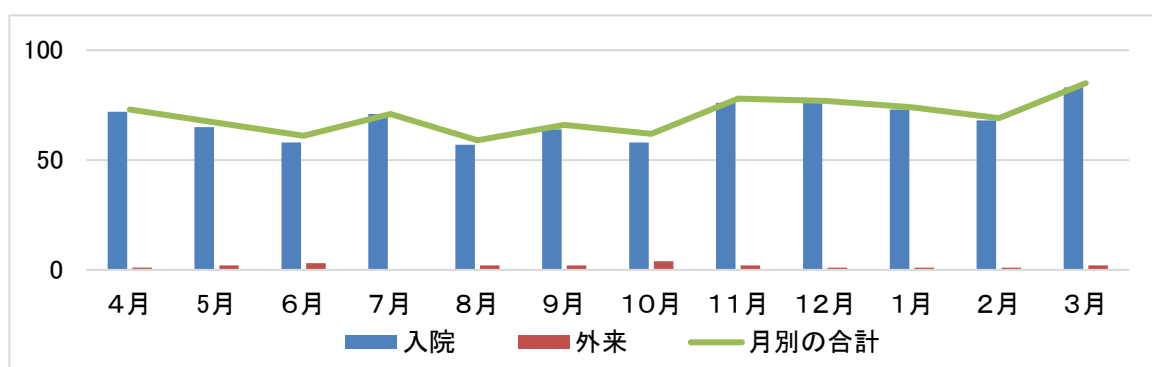


## 令和4年度 医療福祉相談件数

【SW介入数(新規)】

(単位: 件)

新規介入ケース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
入院	72	65	58	71	57	64	58	76	76	73	68	83	821
外来	1	2	3	0	2	2	4	2	1	1	1	2	21
月別の合計	73	67	61	71	59	66	62	78	77	74	69	85	842



【算定実績】

	件数
入退院支援加算	802件
介護支援連携指導料	58件
退院時共同指導料	13件



## 12) 手術件数(上位20項目)

(単位:件)

	手術名称	件数
1	抜歯手術(埋伏歯)	390
2	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm以上)	163
3	顎骨腫瘍摘出術(長径3cm未満)	74
4	骨折観血の手術(膝蓋骨)	44
5	鼠径ヘルニア手術	30
6	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	28
7	骨内異物(挿入物を含む)除去術(下腿)	26
8	口腔内消炎手術(顎骨骨髓炎)(1/3顎以上)	23
9	人工骨頭挿入術(股)	22
10	関節内骨折観血の手術(肘)	20
11	歯根嚢胞摘出手術(拇指頭大)	17
12	内視鏡的乳頭切開術(胆道碎石術を伴う)	16
13	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	13
	経皮的内視鏡下胃瘻造設術	
	内視鏡的胆道ステント留置術	
16	内視鏡的胆道結石除去術	9
17	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	9
18	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	7
19	結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)	6
20	腹腔鏡下胆嚢摘出術	6

### 13) 疾病中分類

	疾病分類表(中分類)	基本分類コード	患者数
1	腸管感染症	A00-A09	15
2	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	B00-B09	3
3	ウイルス肝炎	B15-B19	2
4	真菌症	B35-B49	2
5	その他の感染症及び寄生虫症	A00-B99の残り	8
6	胃の悪性新生物	C16	10
7	結腸の悪性新生物	C18	71
8	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	C19-C20	34
9	肝及び肝内胆管の悪性新生物	C22	7
10	気管、気管支及び肺の悪性新生物	C33-C34	17
11	悪性リンパ腫	C81-C85	5
12	その他の悪性新生物	C00-C97の残り	43
13	良性新生物及びその他の新生物	D00-D48	18
14	貧血	D50-D64	10
15	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	D65-D89	2
16	糖尿病	E10-E14	13
17	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	E15-E90	59
18	血管性及び詳細不明の認知症	F01, F03	3
19	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F10-F19	2
20	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	F20-F29	1
21	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	F30-F39	2
22	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	F40-F48	3
23	その他の精神及び行動の障害	F00-F99の残り	1
24	パーキンソン病	G20	10
25	アルツハイマー病	G30	6
26	てんかん	G40-G41	23
27	自律神経系の障害	G90	11
28	その他の神経系の疾患	G00-G99の残り	21
29	白内障	H25-H26	4
30	メニエール病	H81.0	10
31	その他の内耳疾患	H80, H81.1-H83	24
32	その他の耳疾患	H90-H95	1
33	高血圧性疾患	I10-I15	3
34	虚血性心疾患	I20-I25	24
35	その他の心疾患	I01-I02.0, I05-I09, I27, I30-I52	89
36	くも膜下出血	I60, I69.0	4
37	脳内出血	I61, I69.1	41
38	脳梗塞	I63, I69.3	202
39	その他の脳血管疾患	I62, I64-I67.1, I67.3-I68, I69.2, I69.4-I69.8	5
40	動脈硬化（症）	I70	1
41	低血圧（症）	I95	5
42	その他の循環器系の疾患	I00-I99の残り	15
43	肺炎	J12-J18	52
44	慢性副鼻腔炎	J32	1
45	急性又は慢性と明示されない気管支炎	J40	1
46	慢性閉塞性肺疾患	J41-J44	10
47	喘息	J45-J46	2
48	その他の呼吸器系の疾患	J00-J99の残り	64
49	う蝕	K02	12
50	歯肉炎及び歯周疾患	K05	6
51	その他の歯及び歯の支持組織の障害	K00-K01, K03-K04, K06-K08	175
52	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	K25-K27	9
53	胃炎及び十二指腸炎	K29	2
54	アルコール性肝疾患	K70	4
55	肝硬変（アルコール性のものを除く）	K74.3-K74.6	8
56	その他の肝疾患	K71-K72, K74.0-K74.2, K75-K77	12
57	胆石症及び胆のう炎	K80-K81	53
58	膵疾患	K85-K86	3
59	その他の消化器系の疾患	K00-K93の残り	224
60	皮膚及び皮下組織の感染症	L00-L08	25
61	皮膚炎及び湿疹	L20-L30	1
62	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	L10-L14, L40-L98	7
63	炎症性多発性関節障害	M05-M14	4
64	関節症	M15-M19	1
65	脊椎障害（脊椎症を含む）	M45-M49	11
66	椎間板障害	M50-M51	1
67	腰痛症及び坐骨神経痛	M54.3-M54.5	2
68	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	M00-M99の残り	19
69	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	N00-N16	18
70	腎不全	N17-N19	9
71	その他の腎尿路系の疾患	N25-N39, N99.0-N99.1, N99.4-N99.9	47
72	前立腺肥大（症）	N40	1
73	その他の男性生殖器の疾患	N41-N51	2
74	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	Q00-Q18, Q25-Q99	4
75	骨折	S02, S12, S22, S32, S42, S52, S62, S72, S82, S92, T02, T08, T10, T12	180
76	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	S06, S26-S27, S36-S37	41
77	中毒	T36-T65	2
78	その他の損傷及びその他の外因の影響	S00-T98の残り	41
79	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	Z40-Z46.2, Z46.5-Z54	1
80	特殊目的用コード	U00-U99	135

## 14) 救急・時間外年度別患者数

(単位:人)

			2020年度	2021年度	2022年度
救急車受入患者数①			1,208	1,085	1,024
内訳	時間内	入院	322	282	238
		外来	170	180	144
		計	492	462	382
	時間外	入院	371	334	292
		外来	345	289	350
		計	716	623	642
時間外患者数②			1,022	877	2,023
内訳	入院		179	167	1,280
	外来		843	710	743
合計(①+②)			2,230	1,962	3,047

